

技術監理局

一般会計要求総額 169 百万円
(対前年度 +17.8%)

【平成31年度 予算要求の経営方針】

技術監理局は、公共工事の設計、積算、契約、施工管理、検査までを効率的かつ一体的にサポートする体制を構築し、適正な執行と品質確保に努めます。

さらに、市の契約部門の総括として、地元企業の育成や優先発注、公共事業からの暴力団関係者の排除、実態のない業者等の排除に取り組み、公平・公正な契約制度を推進します。

次に、本市の建設業を支える人材の確保を支援するため、担い手不足の解消に向けた人材の育成や生産性向上を図り、将来に希望が持てる建設現場の実現を目指して、積極的な取り組みを行います。

【平成31年度 予算要求の基本的な考え方】

①：新規事業、②：拡充事業

●適正な工事価格の設定

要求額 73百万円 (対前年度 +10%)

公共工事の適正な執行を図るため、国及び他都市の取り組み状況や市場動向の調査を進めながら、設計単価及び設計積算基準等の整備・更新を行い、設計積算書作成システムの効率的な運用を図る。

- ・ 技術管理関連業務
- ・ ① 積算システム (土木) 改修業務

●市の事務事業からの暴力団等の排除等

要求額 44百万円 (対前年度 +5%)

「北九州市暴力団排除条例」等に基づき、公共工事など市の事務事業から暴力団等を排除する。また、実態のない業者等不良不適格業者の排除にも努める。

- ・ 公共工事に係る暴力等相談業務
- ・ 登録業者の実態調査

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成31年度に実施することが確定しているものではありません。